

令和4年度

令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

事業報告書

学校法人 野上学園

1. 法人の概要

(1)建学の精神

本学園の建学の精神は「如何なる時も凡事徹底」です。この精神は学園が設置する全ての教育機関に受け継がれ、学生教育の柱となっています。

また本学は「動物」を学ぶことを目的とした教育機関を設置していることもあり、「動物から生きる知恵を学ぶ」ことを使命とし、「喜びを与える人であれ」を教育理念として、ヒトと動物が共に暮らせる社会を目指した人材育成を行なっています。

(2)沿革

法人設立年月日 平成 19 年 9 月 25 日

法人本部所在地 徳島県徳島市佐古一番町 5 番 4 号

学校設置年月日

- ・ブレイメン愛犬クリエイティブ専門学校設置 平成 20 年 4 月 1 日
- ・神戸ブレイメン動物専門学校設置 平成 24 年 4 月 1 日
- ・東京ブレイメン動物専門学校設置 平成 29 年 4 月 1 日
- ・ブレイメン愛犬クリエイティブ専門学校 学校名変更
→ ブレイメン動物専門学校 平成 31 年 4 月 1 日
- ・大阪ブレイメン動物専門学校設置 令和 3 年 4 月 1 日

(3)設置学校

- ・ブレイメン動物専門学校 所在地：徳島県徳島市
ペットビジネス学科 : 2 年制
愛玩動物看護学科 : 3 年制
ペットマイスター学科 : 4 年制

・神戸ブレイメン動物専門学校 所在地：兵庫県神戸市中央区
 ペットビジネス学科：2年制
 動物看護学科：3年制

・東京ブレイメン動物専門学校 所在地：東京都北区
 ペットビジネス学科：2年制
 愛玩動物看護学科：3年制

・大阪ブレイメン動物専門学校 所在地：大阪府大阪市福島区
 ペットビジネス学科：2年制
 愛玩動物看護学科：3年制

(4)学生数

令和5年5月1日現在

ブレイメン動物専門学校

学 科	入学 定員	収容 定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
ペットビジネス学科	35	70	45	48			93
愛玩動物看護学科	18	54	17	3	—		20
ペットマイスター学科	5	20	3	2	8	9	22

神戸ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	合計
ペットビジネス学科	80	160	83	51		134
愛玩動物看護学科	40	120	44	13	—	57

東京ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	合計
ペットビジネス学科	40	80	40	40		80
愛玩動物看護学科	14	42	14	9	—	23

大阪ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	合計
ペットビジネス学科	60	120	66	40		106
愛玩動物看護学科	40	120	44	12	—	56

(5)教職員数

令和5年5月1日現在

ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
11	2	13	1	1

神戸ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
10	11	21	2	2

東京ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
9	5	14	1	1

大阪ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
6	9	15	1	1

(6)役員・評議員概要

令和5年5月1日現在

[定数] 理事5 監事2 評議員11

職名	氏名	任期	備考
理事長	野上 耕一	令和4年10月～令和7年10月	
理事	野上 和子	令和4年10月～令和7年10月	
理事	和田 信彦	令和4年10月～令和7年10月	外部理事
理事	内藤 榮	令和4年10月～令和7年10月	外部理事
理事	豊實 祐之	令和4年10月～令和7年10月	
監事	高橋 諭	令和4年10月～令和7年10月	
監事	園田 貴彦	令和4年10月～令和7年10月	

職名	氏名	任期
評議員	野上 耕一	令和4年10月～令和7年10月
評議員	野上 和子	令和4年10月～令和7年10月
評議員	和田 信彦	令和4年10月～令和7年10月
評議員	内藤 榮	令和4年10月～令和7年10月
評議員	豊實 祐之	令和4年10月～令和7年10月
評議員	鈴木 泰宣	令和4年10月～令和7年10月
評議員	矢野 章太	令和4年10月～令和7年10月
評議員	松村 直子	令和4年10月～令和7年10月
評議員	呉 靖子	令和4年10月～令和7年10月
評議員	小松 敏之	令和4年10月～令和7年10月
評議員	平木 彰子	令和4年10月～令和7年10月

2. 事業の概要

① 事業概要

学校法人野上学園は専修学校（専門課程）4校を有する。（教育内容・設備の充実、学生募集の改善をはかり、グループ校全体での連携を向上させ、学生教育活動をより充実させることを目的とする。

(1) 学生募集活動

今年度の学生募集は、法人全体として前年比140%を達成した。要因として各校あらたに新校舎の建設、既存校舎の増改築により設置学科の入学定員が増加し順調に募集活動が行えた結果と考える。

今後も動物分野における入学希望者数の動向を調査しながら、新たな施設の建設や学生の学習環境を整備しつつ、連携授業や地域活動を組み入れるなどの様々な取り組みを行い、地域の業界との連携を密に図り、幅広いターゲットを明確にした対応を短期・中期・長期的な視野から広報サイクルの展開を図っていくことが重要となる。

(2) 教育活動

教育理念である喜びを与える人であれを実践し、学生一人一人を大切にすることで、学びである動物と人間のよりよい共生社会を目指すことを継続する。

学生が就職後、即戦力となることを主旨とし、動物が本来もっている性質や機能を深く理解することで、日々変化し続ける社会に対して柔軟な対応ができる人材を育成する。

動物を観察し、観察力をつけることで人間社会に必要な「コミュニケーション能力」の向上を図り、マナーや道徳心をもった社会人として貢献できる人材を育成することを目指す。

また学生に対して、各種スキル・知識の取得対策を充実させるとともに、心身のケア支援、生活習慣に関する指導を改善し、学生生活全体の支援体制を整える取り組みを行う

i 授業計画書作成方針

カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。

授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。

年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。

ii 成績評価の方針

授業科目の成績評価は、上位より優（100～90点）、良（89～80点）、可（79点～60点）、不可（59点以下）の4段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。

前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価をP（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。

成績評価による学業結果のうち、評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。

iii 卒業認定の方針

本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し、「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。

主体的、自主的、能動的な姿勢が身に付き一定の思考力、判断力、表現力を獲得している。

動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。

卒業要件として、決められた授業時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に

基づき、学校長が課程修了の認定を行う。

(4)組織体制

今後の私学経営を取り巻く厳しい環境に対応していくため、次世代の管理者を育成し教育と経営の両面でバランスの取れた人材を適材適所に配置していくことが急務であり、教職員研修や指導体制を整えて組織力を強化していく。

②事業計画及び進捗状況

(1)教育研究の取り組み

実践型教育をこれまで以上に充実させるために、企業との連携をより推進している。動物産業だけでなく、他分野の産業界との連携を活発に行い、特定の業種だけに特化した教育だけではなく、時代に対応できる社会人を育成することを重視する。また、動物看護師の国家資格化に対応した学科編成、施設の整備が完了し、今後の状況に応じてさらなる学習環境整備を進めていく。

全国4校に設置校があることで、学園全体としてより幅広い地域での教育活動が行える地盤が出来つつあり、様々な地域企業との連携が可能となった。

また、国内だけでなく、海外の教育施設、企業との交流を進めてきたが、これまでのアジア圏だけでなく、提携しているアメリカ・カリフォルニア州のモアパークカレッジとの定期交流を通じて、より国際的な観点での教育活動が増加している。

(2)教職員の質向上

教職員は近年の多様化した社会、動物産業の多彩なペットビジネスサービスのニーズに対応する為に必要な知識・技術を習得することが必要となる。国内外を問わず、連携企業・学校への研修・セミナーを定期的で開催し、教職員の資質・能力の向上と意識改革を進める。

専門分野における実務に関する研修として、海外提携大学モアパークカレッジでの飼育学研修、動物愛護及び管理に関する法律に関連した研修会、日本臨床獣医師会フォーラムでの動物看護等研修プログラム等、指導力向上の為に研修として、フリー

アナウンサーを講師に招き、定期的な話し方のセミナーを開催、専修学校各種学校連合会主催の教職員セミナー等が例年実施されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部オンラインでの実施となっていたが、少しずつ対面での実施となっている

(3)施設関係

神戸校、大阪校に新たに新校舎を建築し、学生の学習環境を整備すると共に、ペットビジネス学科、愛玩動物看護学科ともそれぞれ募集定員を増加させた

③施設等の状況

設置学校の校舎所在地

・ブレーメン動物専門学校

1号館 徳島県徳島市佐古一番町5番4号

2号館 徳島県徳島市佐古一番町19番1号

・神戸ブレーメン動物専門学校

1号館 兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番17号

2号館 兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番14号

3号館 兵庫県神戸市中央区二宮町4丁目23番20号

・東京ブレーメン動物専門学校

1号館 東京都北区滝野川7丁目39番14号

2号館 東京都豊島区上池袋4丁目16番20号

・大阪ブレーメン動物専門学校

1号館 大阪府大阪市福島区大開2丁目19番19号

2号館 大阪府大阪市福島区大開2丁目6番7号

3. 財務の概要

(1) 2022年度決算概要

① 貸借対照表の状況

2022年度決算においては、総資産額は前年度より657百万円増加、総負債額は385百万円増加した。負債が増加しているのは、新校舎建築に係る借入金及び入学定員増に際してR5年度入学者の前受金関係が増加したものに寄与する。

② 収支計算書の状況

2022年度決算においては、経常収支差額が昨年度より約65百万円増加した。大阪ブレーメン動物専門学校が開校2年を経過したことで学生数が増加し、学生生徒納付金収入が伸びたことや、同時にグループ校全体として補助活動収入も伸びたことが要因となる。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位：千円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度
固定資産	866,555	1,158,242	1,851,673
流動資産	317,827	300,651	264,520
資産の部合計	1,184,381	1,458,893	2,116,193
固定負債	98,249	89,951	231,362
流動負債	288,910	363,840	607,602
負債の部合計	387,159	453,791	838,964
基本金	839,137	1,160,083	1,628,110
繰越収支差額	41,914	154,982	350,881

純資産の部合計	797,222	1,005,102	1,277,228
負債及び純資産の部合計	1,184,381	1,458,893	2,116,193

②収支計算書

i 資金収支計算書 (単位：千円)

科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度
学生生徒納付金収入	216,650	327,100	415,932
手数料収入	468	575	826
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	16,134	30,392	46,551
資産売却収入	0	0	0
付帯事業・収益事業収入	83,952	120,048	136,811
受取利息・配当金収入	5	3	1
雑収入	1,825	1,563	3,296
借入金等収入	0	0	400,000
前受金収入	278,038	352,069	482,882
その他の収入	24,281	30,980	59,154
資金収入調整勘定	△180,767	△280,576	△356,069
前年度繰越支払資金	147,057	315,302	298,112
収入の部合計	587,643	897,455	1,486,987

科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度
人件費支出	117,042	150,846	183,739
教育研究経費支出	29,116	47,172	65,042

管理経費支出	31,787	52,333	53,708
借入金等利息支出	344	320	1,051
借入金等返済支出	7,956	7,956	146,543
施設関係支出	59,365	306,303	712,922
設備関係支出	4,674	6,346	8,219
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	23,245	29,319	57,305
資金支出調整勘定	△1,187	△1,254	△1,487
翌年度繰越支払資金	315,302	298,113	259,944
支出の部合計	587,643	897,455	1,486,987

ii 事業活動収支計算書（単位：千円）

科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度
学生生徒等納付金	216,650	327,100	415,932
手数料	468	575	826
寄付金	0	0	0
経常費等補助金	15,634	30,392	46,511
付随事業収入	83,952	120,048	136,812
雑収入	1,825	1,453	3,261
教育活動収入計	318,528	479,568	603,342
人件費	117,042	150,846	183,739
教育研究経費	39,612	68,134	90,927
管理経費	40,041	52,333	55,533
徴収不能額等	0	0	0

教育活動支出計	196,696	271,312	330,200
教育活動収支差額	121,833	208,255	273,142
受取利息	5	3	1
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	5	3	1
借入金等利息	344	320	1,051
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	344	320	1,051
教育活動外収支差額	△339	△317	△1,050
経常収支差額	121,493	207,938	272,092
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	500	190	35
特別収入計	500	190	35
資産処分差額	229	0	0
その他の特別支出	0	249	0
特別支出計	229	249	35
特別収支差額	271	59	35
[予備費]	0	0	0
基本金組入前当年収支差額	121,764	207,880	272,127
基本金組入額合計	△72,064	△320,947	△468,027
当年度収支差額	49,699	△113,067	△195,900
前年度繰越収支差額	△91,614	△41,914	△154,982
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△41,914	△154,982	△350,881